

嵐山町の子どもたちのために大人ができることは、何でしょうか。

## 子どもの総線量を低くするために子どもの活動の場から放射能の除染を！

子どもは細胞分裂で大きくなります。放射線は遺伝子を傷つけ、次の世代にも影響します。

原発事故で、日本全体が放射能に汚染されています。福島と比較すると線量が低いので、問題にすると神経質といわれます。しかし、25年前のチェルノブイリ事故の経験から、低線量被ばくで、子どもの遺伝子が傷つけられ、傷つけられたまま細胞分裂が繰り返され、白血病・がん、将来出産する赤ちゃんに問題がでてくることがわかってきています。

➡嵐山町では、子どもが活発に活動する校庭・園庭の表土 1cmを削れば、除染できそうです。

☀学校の体育の授業、休み時間・サッカー・野球など安心できます。

福島原発事故以前、子どもの放射能被ばくの安全値は年間 1 ミリシーベルト以下でした。

文部科学省は、事故後年間 1～20 ミリシーベルトにしました。委員の一人が抗議して辞めました。

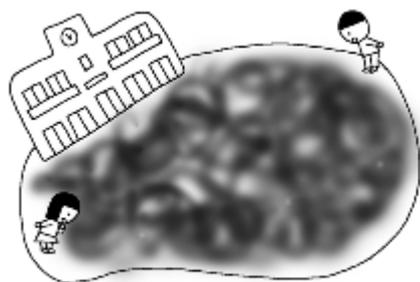
町が測定した空間放射線量は、内部被ばくをカウントしない場合、年間 1 ミリシーベルト以下です。

➡内部被ばくをプラスすると、年間 1 ミリシーベルト以上になりそうです。

下の表は、8月8日の50cmの高さ(乳幼児)の測定値です

町 HP より抜粋 (乳幼児 50cm)	50cm の測定値 マイクロシーベルト/時	1 年間換算値 ミリシーベルト/年
菅谷公園(砂)	0.10	0.53
蝶の里公園(土)	0.14	0.74
フィットネス21パーク(芝)	0.14	0.74
嵐山幼稚園(土)	0.12	0.58
東昌保育園(砂)	0.13	0.68
東昌第2保育園(土)	0.12	0.63
若草保育園(土)	0.09	0.47
しらこぼと保育園(芝)	0.12	0.63

(5回測定の平均値)



- ♥ 国土・海の汚染で、水・食物からの被ばくもあります。セシウム 137 は 30 年間でやっと半分になります。
- ♣ 町は子どもの集まる場所を放射能を少なくするために、放射能の多い土などの除染をしてください。
- ◆ 学校の校庭・幼稚園・保育園の園庭は、町予算で、表土を削り、穴をほって埋めましょう。
- ♣ 枯葉や雨水のたまりやすい場所を掃除しましょう。芝生は深く刈り込みましょう

子どもは外部被ばく + 内部被ばく (食事・水・呼吸) = 1 ミリシーベルト以下にしましょう。

## 子どもたちの未来を持続可能な世界にするために温暖化防止を

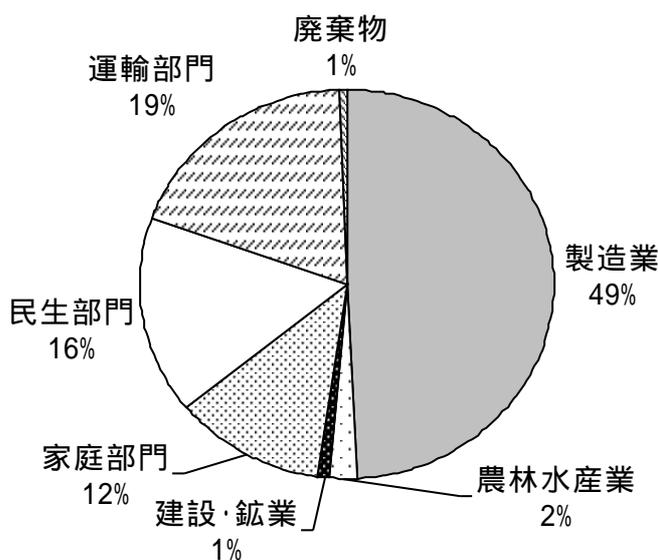
文教厚生委員会(青柳・金丸・川口・渋谷・長島・藤野・柳)は、  
 緑と清流・嵐山町ストップ温暖化条例を策定しました。  
 気温上昇を1900年代から2℃以内に抑えなければ、  
 人類が生活するのが難しい環境になると予測されています。



持続可能な地球に間にあわせるためにも  
 省エネルギーと再生可能エネルギーを！

嵐山町の電気・ガスのエネルギー使用量の報告を  
 求め、CO<sub>2</sub>量を計算し、削減目標を決めましょう。  
 下のグラフは、県の工業統計の平均値から推計した嵐山町CO<sub>2</sub>推計量です。

簡易策定マニュアルによる2007年度  
 嵐山町CO<sub>2</sub>排出割合



部門	CO <sub>2</sub> 量 (千トン)
製造業	96
農林水産業	4
建設・鉱業	2
家庭部門	23
民生部門	32
運輸部門	37
廃棄物	1
合計	195

嵐山町は、緑がたくさんあります。CO<sub>2</sub>を吸収する里山にするために、  
 里山の生産物(木材・落ち葉・薪)を活用するまちづくりを進めましょう。

